

ほんごう

国立富山工業高等専門学校同窓会会報

No. 4 2000年(平成12年)10月発行

〒939-8630 富山市本郷町13番地

国立富山工業高等専門学校同窓会

発行責任者 石山 彰 雄

印刷 / 株式会社 宮越印刷



- 同窓生からの提言
- 事務局からのおしらせ
- クラス会通信
- OB会だより
- 高専体育大会の結果報告



必ずこられまあー

平成12年度総会開催 11月3日(金) 午後6:00～8:00

場所 / 名鉄トヤマホテル

会費 / ￥3,000

詳しくは富山高専 (076-493-5483) 佐藤教官

FAX (076-492-3859)

E-mail: sato@toyama-nct.ac.jp

恩師の先生方にも御案内しています。

なお、当日は3年に1度の高専祭(3日、4日)が開催されています。この機会に母校の見学会を企画しましたので、ご希望の方は11月3日(文化の日)15時までに正面噴水前にお越しください。

ご家族での見学も歓迎いたしますので、多数の参加をお待ちしています。

なお出席の方は同封のはがきにて、10月20日までにお知らせ下さい。

多数の参加をお待ちしています。



同窓会として

副会長 E4 木村 正人

20世紀最後のオリンピックもいよいよ開幕ですが、体操の塚原選手や、ハンマー投げの室伏選手など、2世の活躍を期待する記事報道が多く聞かれます。そういえば昨今、政治や芸能界などでも2代目が何かと活躍、話題（内容はともかくとして）となることが多くなりました。

採り上げられる中で、なぜ子供が親と同じ道を選んだのか、2つの理由からくるものではないかと考えます。一つは、親が自分の行きざまを子供にわかってもらいたい、もしくは未達成だった目

的を引き継いでもらいたいと強く要望し、それにこたえるべく努力するものです。そしてもう一つは親の姿にあこがれ、その中に自分自身の目標を見出し、努力するものです。

今年富山高専も創立36周年を迎えましたが、今まで何組かの親子が2代にわたって同校を卒業し、同業の技術会社への道を進んでおられることを知りました。

21世紀を担う後輩達に、親子ならずとも私達は同窓会として、積み重ねられた年数にふさわしい深みのある継続がなされているのか？また、後輩達への道しるべたる指導的援助がどこまでできるものなのか、今一度自分たちの役割を果たすべく、ともに考え、ともに前進できるよう、一人でも多くの同窓生の参加をお願いしたいものです。

同窓生からの提言

E5 山田 正幸

同窓会名簿が送られてきました。

同窓会長のメッセージに関心があります。

卒業生の50%もが大学へ編入している現状は、高専卒の就職状況がおそらく悪いのでしょう。これは、我々OBの問題でもあります。高専卒業生が企業であまり活躍していないということでしょう。当社においても大卒と高専卒と比較しますとやはり高専卒の評価が低いように思います。企業現場では、決して学歴を意識していません。しかし、管理者は気にしています。

(なぜ評価が低いのか)

- ①圧倒的に高専卒が少ないことが大きな要因です。
- ②20歳と22歳でスタート年齢の差もあります。
- ③高専卒としてのプライドがあまりありません。むしろ窮屈な思いをしています。

このことがやる気を小さくしていると思います。

- ④技術力には大卒と同等ですが人間としてどうかと見るとやや劣ります。

(高専の教育としてどうすべきか)

基礎的な技術力はやはり重要です。しかし、それ以上に創造力を引き出す技術を身につけるべきです。どこの企業でも「言われた仕事をこなす。」だけでは満足しません。

画期的な業務改善、新製品開発につながる創造力こそ重要な能力です。また、力があってもやる気がなければいけません。この「やる気と創造力」がポイントです。

(やる気の育成)

私の経験では、スポーツで苦勞した人特にキャプテンを経験してきた人ほどやる気の高い傾向があると感じています。よく言われる話ですが、「学生時代は勉

強はダメだったが、クラブ活動や社会活動などに熱中してきた。」という社長さんが結構います。

これは、「何か目標に向かって、つらいひたむきな努力をした。」経験が社会人になっても大きな支えになっているものと思います。

全寮制にして高いレベルの指導者を招いて徹底的にスポーツ振興を目指すのも一つの方法です。また、ボランティア活動や各種資格取得など「何か学生時代の目標を設定させて、その達成を目指す。」活動があるべきです。

(創造力の育成)

創造力は、日頃「考えさせることと議論させること」が重要です。そして「創る喜び」を経験させることです。自作ロボット大会はその代表的なしくみです。また、企業実習や海外視察など広い視野を身につけることも重要です。

(教育カリキュラムについて)

①基本的な教養・技術教育 ②選択目標実現活動 ③創造力育成教育 ④企業実習・海外実習の4点を柱にした教育カリキュラムはいかがでしょうか。そのために5年間にこだわらず6年でも7年でもよいのではないのでしょうか。

たとえば、1～3年は、①と②を4～5年は③と④をおもな教育テーマとします。

企業実習と海外実習は中途半端なものにしないで4年生の前期6ヵ月程度とします。現状の卒業研究は「研究とはいえない」内容です。おもいきって創造力をテーマとして、必ず何かを創りあげるものとし、企業実習や海外実習もそのテーマの一環として2年間程度としてはいかがでしょうか。

とにかく5年間を通して、「やり遂げた自信」を身につけてやりたいものです。そのことが社会に出てからも生きるものと確信します。

以上、一人の卒業生の意見として参考にしていただければ幸いです。

事務局からのお知らせ

◎クラス会の助成制度について

同窓会では今年度よりクラス会の助成制度を設けました。この制度は会員間の交流を活性化することを目的としています。助成を受けることができるのは次の条件を満たしているクラス会です。

- 同じクラスの会員が10人以上そのクラス会に出席すること。
- 助成は1つのクラスにつき年に1回のみです。
- 助成の申請はクラスの理事を通して行ってください。各クラスの理事は次の表のとおりです。
- 助成を受けた場合にはクラス会の報告書とクラス会の様子を写した写真を提出してもらいます。
- 申請はクラス会を行った年度内なら可能です。
- 助成金は原則として定例理事会にて交付します。理事か代理が出席してください。
- 助成は年間10件程度とします。

◎助成金申請方法

助成金の申請は次の項目を記載した申請書と写真を同窓会事務局へ持参してください。

- クラス名 (M3, CK2のように)
- クラスの理事名と捺印, 理事の連絡先 (FAXかE-Mail)
- クラス会参加者名
- クラス会の様子など (400文字程度)
- クラス会のときの様子を写した写真 (添付)

申請書の書式は特に定めませんが同窓会のホームページに雛形を置いておきますのでそれを利用してくださって結構です。

同窓会理事名簿

卒業年	回	氏名	回	氏名	回	氏名	回	氏名
1969	M 1	後明 康孝	E 1	田中 正人	C 1	長谷川 登		
1970	M 2	永森 真一	E 2	大巻 憲五	C 2	清田 幸造		
1971	M 3	石山 彰雄	E 3	中島 潔	C 3	飛世 修		
1972	M 4	丸山 治久	E 4	木村 正人	C 4	柴 基雄		
1973	M 5	山崎 秀一	E 5	高木 正之	C 5	小川 和男		
1974	M 6	布村 敏夫	E 6	金子 信一	C 6	水林 幸雄	K 1	川井 祐賢
1975	M 7	寺井 達郎	E 7	天坂 幸治	C 7	広野 勉	K 2	宮崎 喜信
1976	M 8	宮越 成幸	E 8	富川 功	C 8	松永 政次	K 3	青木 宏志
1977	M 9	浦田 敏明	E 9	池上 久晴	C 9	牧野 啓行	K 4	磯野 忠
1978	M10	浅地 暁夫	E 10	秋田 年哉	C 10	永代 尚武	K 5	金井 毅俊
1979	M11	川開 国夫	E 11	吉田 守	C 11	長江 真司	K 6	中川 泰造
1980	M12	藤田 秀人	E 12	深山 信一	C 12	長越 進	K 7	福田 稔昭
1981	M13	木下 伸治	E 13	開田 康浩	C 13	八橋 謙二	K 8	奥野 耕市
1982	M14	松本 吉明	E 14	高橋 靖人	C 14	坂本 智司	K 9	菅野 英雄
1983	M15	田嶋 実	E 15	島田 桂	C 15	高松 雅春	K 10	北島 博之
1984	M16	清水 龍人	E 16	佐野川広嗣	C 16	森川 光雄	K 11	綿谷 修
1985	M17	森川 幸夫	E 17	中川 泰	C 17	松原 重雄	K 12	山本 肇
1986	M18	坪川 幾夫	E 18	沢井 博明	C 18	浅井 清	K 13	山本 高志
1987	M19	副島 悟	E 19	竹林 望	C 19	山西 誠	K 14	藤井 義昭
1988	M20	山野 茂	E 20	新村 努	C 20	柴野 勝宏	K 15	山口 正志
1989	M21	西野 一也	E 21	柿岡 史恭	C 21	竹内 輝紀	K 16	長谷川雅一
1990	M22	河原 治	E 22	鎌仲 秀一	C 22	栃折 智之	K 17	清水 政孝
1991	M23	五島 康	E 23	黒崎 勝彦	C 23	佐伯 隆司	K 18	広本 浩一
1992	M24	阿部 剛	E 24	横井 英之	C 24	荒井 毅宏	K 19	高畑 英夫
1993	M25	日尾 武志	E 25	久世 晃司	C 25	久才 慎一	K 20	藤丸 陽一
1994	M26	西野 武弥	E 26	高柳 良太	C 26	浅川 典昭	K 21	藤岡 剛
1995	M27	米澤 正昭	E 27	上田 智美	C 27	吉田 功	K 22	近藤 智幸
1996	M28	瀬戸 賢二	E 28	不明	C 28	不明	K 23	藤井 清
1997	M29	桑下 茂雄	E 29	不明	C 29	川辺 真弘	K 24	河下 竜世
1998	M30	高野 正章	E 30	不明	C 30	村中亜由美	K 25	水林 舞
1999	M31	石田 敏晶	E 31	佐藤 和也	C 31	北尾 敦克	K 26	川口 健治
2000	M32	菓子 貴晴	E 32	山口 良博	C 32	窪田 直彦	K 27	高崎 慎一

専攻科

卒業年	回	氏名
1995	ME 1	坂井 歩
1996	ME 2	不明
1997	ME 3	不明
1998	ME 4	不明
1999	ME 5	佐竹 克夫
2000	ME 6	西野 武弥
1995	CK 1	古井 秀行
1996	CK 2	高稲 直宏
1997	CK 3	西島 昭弘
1998	CK 4	不明
1999	CK 5	前田 功一
2000	CK 6	児玉 知子

理事に連絡がつかないとき、あるいはまだ決めていないときは、下記の方法で理事を交代することができます。

1. 理事を交代したいとき。
 - 新しい理事を選んで新理事と旧理事が連名で同窓会事務局まで交代する旨を書面で伝えてください。
2. 理事に連絡がつかないとき。あるいはまだ決めていないとき。
 - 理事をやってもよい人は同窓会事務局まで書面で伝えてください。

クラス会通信

★このクラス会通信は、3ページの記載の助成を受けています。

M3クラス会

石山 彰 雄

正確な記憶はないが、今回で7回目のクラス会と思われる。今回の出席者は石崎先生を含め、12名。卒業後、はじめて顔を合わせる仲間もいる。32名に案内状を出し、欠席通知が9名、残り12名は音信不通、せめて「元気だぞ」ぐらい書いてきたって損にはなるまい。

次回は4年後(オリンピックイヤー)、長良川で神秘的な鵜飼いを見るとの話であったが、翌朝には酔いもさめて宇奈月グランドホテルになりそう。

M3諸氏、次回は貴殿の顔を是非見てみたい。



E5クラス会

高 木 正 之

何回目のクラス会かは、はっきりしませんが、E5のクラス会はオリンピックの年に行うのが恒例となっております。今回は8月11日、呉羽ハイツに小川、貴堂、武田、亀田の四先生方にも参加いただき、同級生18名が4年ぶりに集い、泊り込みで行われました。

懇親会は、物故者(斎藤先生、長井先生、尾崎委員長)の冥福を祈って黙祷した後、山口副委員長(我がクラスは5年間、委員長、副委員長の変更なし)の挨拶、幹事より参加できなかった方々の近況報告、続いて小川先生からご挨拶をうけて、始まりました。

この後、参加者各自の近況報告を予定していましたが、あつというまに座はくずれ、個々に近況報告の輪ができ、懇親会最後の記念写真を撮るまで收拾不能な状態に陥るほど盛り上がり過ぎてしまいました。その後、各部屋に戻り、深夜まで話の花が咲き、飲み明かしました。

翌日、次回はアテネオリンピックの年に集う事、幹事は和田君を中心に呉西地区のメンバーが行うことを確認し、散会いたしました。



ク ラ ス 会 通 信

ミレニアム同窓会 (E7) を終えて

天 坂 幸 治

卒業後、5年の節目毎に同窓会(1月2日に固定)を開催してきました。我々にとって、今年が25年目の節目にあたると同時に、20世紀最後の年、ミレニアム年という記念すべき年の開催となりました。

前回(5年前)と比べると出席者は12名と大幅に減りましたが、恩師 高藤先生のご臨席を賜り、当時の教授連の裏話など、今出なければ聞けない話でおおいに盛り上がり、終始楽しい宴となりました。(先生は77歳(喜寿)を迎えられても、とってもお元気でした。先生にお世話になった卒業生は「喜寿」のお祝いの電報等を忘れないように)

話題は、会社の中堅幹部としてがんばっている自慢話が多くなりますが、結構きついツッコミがあり、シュンとする同窓生もいます。同窓会では、社会での地位は無視され、学生時代の力関係が健在といったところです。(心が学生時代に戻るところが同窓会のすばらしさか。)

我々のクラスは当時としては珍しく、紅一点Hさんという素晴らしい人がいました。(高藤先生談:電気工学科を卒業した第一号の女性)同窓会には毎回出席していただいているのですが、「会う度に、美しくなるなあ?」とため息をついている同窓生もいます。まだ一度も同窓会に出て

いない「・・・君」、Hさんに会いにきてください。

最後に一言。人生80年を考えると、同窓会は後、末広りの「八」、8回開催できる計算になります。なかなか計算どおりにいかないでしょうが、我々の人生も「八」の末広りにあやかり、同窓会で心身ともにリフレッシュし、エネルギーを蓄え、さらなる希望を持ち、躍進したいものです。「E7期の同窓生諸君、みんな同窓会に出てきて、人生を楽しもうよ!」



2000年 M8 同級会

武 田 憲 明、武 田 義 孝

2000年度のM8クラス会は、8月15日に大沢野の春日温泉で開催されました。

幹事の都合で設定した日が悪かったのか、今回の参加人数は愛知県在住の2名を含めて8名と少々寂しいクラス会となりました。

今回のクラス会を開催するにあたり、なんとかM8の同級生全員と連絡がとれたことで、肩の荷の半分が降りた気分でした。同窓会名簿の案内で連絡先不明のクラスメートが数名いただけに、最後のメンバーと連絡がとれたときには正直ほっとしました。

宴会では懐かしい学籍番号順に、欠席者については消息の情報交換を、出席者からは現況の紹介を受けました。県外在住者の言葉が学生時代とは違っているものの、メンバーの性格は相変わらずで気兼ねのない集いとなりました。



ク ラ ス 会 通 信

C21 クラス会

畔 田 博 文

ミレニアムの年と言うことで第21回工業化学科クラス会が5月3日(水)16時より天米県庁前店で7年ぶりに行われた。会には18名が参加し、5年生の時の担任である篠田先生を囲み高専時代の懐かしい話や近況報告などを中心に盛り上がった。

また、これを機に第21回工業化学科卒業生の会(C21同窓会)を充足し定期的な住所調査やクラス会の開催をすることとなった。写真は天米で行われた一次会及び天狗で行われた2次会風景である。



陸 上 部 O B 会 の 紹 介

平成11年度陸上部OB会会長 金 田 晃 広 (K12)

富山高専陸上部OB会は昭和57年に結成以来、今年が19回目の総会となりました。会員数もOB会結成当初の50名から175名(名簿上)と増えており、今後約10年で200名に達する組織となります。

ここで、陸上部OB会の特徴と活動状況を紹介します。

まず、目的はOB相互間および現役部員との親睦、陸上部の後援としています。

活動項目は、①総会(記録会、懇親会)、②現役補助(必要に応じタイム誌発行の追加補助)、③各競技への積極参加です。

総会は毎年8月15日に開催しており、併せて50m、100m、1500m、5000m、走り幅跳び、砲丸投げなど参加希望種目の記録会を実施しています。記録会後の懇親会は、ここ数年グラウンドのメインスタンドにテントを張ってバーベキューをしながら和気あいあいと行っています。

OB会として一般競技に参加するものとしては、「富山おらっちゃリレーマラソン」があります。これは42.195kmを1チーム2名以上20名以内でたすきリレーする競技です。(現役時代から長距離の苦手な私でも皆さんの足を引張りながら気持ちよく汗のかける競技です。)

以上簡単に陸上部OB会の紹介をさせていただきましたが、高専という同じ庭で学んだ諸氏が長く繋がりをもって語り合えることはとても有意義なことです。私などはOB会のおかげで今年も頑

張るぞと勇気づけられています。

さて陸上部OB会は来年新世紀に20周年を迎え、松本(M14)新会長を中心に記念総会の計画をはじめたところです。これまで以上にOB会および富山高専陸上部の発展に繋がるようOB諸氏の意見を参考にさせていただきながら練り上げていき、意義ある総会にしたいと思います。私もOB会の一員として今後のOB会の発展に微力ながら寄与していきたいと思っています。

最後になりましたが、このようにOB会活動ができるのも先生方をはじめOB先輩諸氏そして現役部員およびOB会員諸氏のご理解とご協力の賜物であり、あらためて感謝し、御礼申し上げます。



第35回 北陸地区高専大会結果

主管校 石川高専
6月17日(土)～7月9日(日)

区 分	順 位				
	富山高専	石川高専	福井高専	富山商船	金沢高専
陸 上 競 技	2	3		1	
男子バレーボール		2	1		3
女子バレーボール		1	3	2	不参加
男子バスケットボール		2		3	1
女子バスケットボール	2	1		3	不参加
男子テニス		2	1	3	
女子テニス	3		1	2	不参加
野 球	2	1		3	
サ ッ カ ー	1	3		2	
男子卓球	1		2		3
男子バドミントン	1	2	3		
女子バドミントン	3	1		2	不参加
水 泳	2	1			3
男子剣道		3	2		1
男子柔道	2	3		1	不参加
総 合 順 位	2位	1位	4位	3位	5位

オープン競技

区 分	順 位				
	富山高専	石川高専	福井高専	富山商船	金沢高専
ソ フ ト テ ニ ス		1	3		2
女子剣道	3	1		2	
ラ グ ビ ー	2		3	1	
ハ ン ド ボ ー ル	2	1	3		

第35回 全国高専大会結果 (函館高専)

全国大会出場

- | | |
|---|--|
| <p>団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子卓球 ・男子バドミントン ベスト8 ・サッカー 一回戦惜敗 <p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子陸上 <ul style="list-style-type: none"> 三段跳 5位 得能 彰 予選惜敗 安田 吉宏 走高跳 2位 安田 吉宏 ・男子水泳 <ul style="list-style-type: none"> 100m自由形 7位 草野 調孝 400m自由形 5位 山本 奨悟 ・女子水泳 <ul style="list-style-type: none"> 100m平泳ぎ 2位 東福 麻央 100m自由形 7位 中村 紘子 ・男子卓球 <ul style="list-style-type: none"> シングルス 1回戦惜敗 林 正人 ダブルス 準優勝 下田陽一朗・林 正人 | <ul style="list-style-type: none"> ・男子バドミントン <ul style="list-style-type: none"> シングルス 1回戦惜敗 高田 友哉 ダブルス 3位 松澤 知紀・沢井 陽介 ・女子バドミントン <ul style="list-style-type: none"> ダブルス 1回戦惜敗 堂田美和子・中尾和美 ・男子柔道 <ul style="list-style-type: none"> 73kg級 準優勝 北本 陽一 90kg級 1回戦惜敗 稲村 浩一 ・女子柔道 <ul style="list-style-type: none"> 52kg級 3位 石黒亜矢子 52kg超級 優勝 山本 綾香 〃 1回戦惜敗 杉政 友里 〃 1回戦惜敗 城野真奈美 |
|---|--|

第33回 近畿・東海・北陸・信越地区 高等専門学校弓道大会

女子団体の部 準優勝

第55回国民体育大会夏季大会(とやま国体)

ボウリング(少年女子) 出場 山田亜希子

APECサイエンスフェスティバルに参加して

私たちは、7月25日～8月3日の間、シンガポールで行われたAPECサイエンスフェスティバルに参加しました。APECサイエンスフェスティバルとは、19カ国から約500名の学生が集まり様々な活動をする科学の国際イベントです。

期間中は、各国との文化交流やシンガポールの大学訪問など、いろいろな行事がありました。そのうちの一つ、科学プロジェクトの展示で、私たちは、「ケナフ炭による水質浄化」について研究したことを発表しました。この研究は、富山高専グローバルアクト部が去年から取り組んでいる研究をまとめたものです。ここでは、世界の人々に私達の研究を見てもらうことができました。英語でいろいろと質問されたりして、少し戸惑ったところもあったけど、なんとかみんなに分かってもらう事ができました。

また、文化交流のときには、香港、台湾、中国などなど、たくさんの国の人たちと友達になること



4年環境材料工学科 大間知 香
3年環境材料工学科 清水 絵理子

ができました。英語でコミュニケーションを取るのとは、とても難しかったけど、みんな科学を志しているということもあって、すぐに仲良くなれました!

このことは、私達にとってとてもよい経験になりました。

今回の渡航にあたり、同窓会より激励金をいただきありがとうございました。

なお、今回発表した研究内容と、シンガポール旅行記、また我グローバルアクト部の活動紹介を、11月3日～4日の高専祭で展示しますので、ぜひ母校へいらしてください。



高専祭2000
Turning Point
～新たなる道～

10月21日(土)PM2:00～ 仮装パレードin総曲輪通り
11月2日(木)PM4:00～ 前夜祭
11月3日(金)AM9:00～ 本祭
11月4日(土) お笑いタレントライブ
ゲスト X-GUN
アメリカザリガニ
文化祭展示ほか
学校企画
・ものづくり教室
・学校見学会
・学科展示、企業展示

国立富山工業高等専門学校

平成12年度事業

- 6月 定時理事会
- 11月 同窓会総会 (名鉄トヤマホテル)
 - ・高専祭助成
 - ・クラブ活動助成
 - ・会報発行
 - ・卒業祝賀会 (教育後援会とともに主催)
 - ・新理事へ活動助成金進呈
 - ・クラス会助成

◎ 富山高専ホームページアドレス
<http://www.toyama-nct.ac.jp>

◎ 富山高専同窓会ホームページアドレス
<http://www.toyama-nct.ac.jp/OB-OG/>

◎ 「ヒューマンネットワーク高専」
ホームページアドレス

<http://www.hnk.or.jp/>

E-mail: miyahnk@cocoa.ocn.ne.jp/